

第113期 報告書

TOYOTAレポート

2016年4月1日から2016年9月30日まで

Contents

- 株主の皆様へ
- 第113期前半の主なトピックス
- 財務ハイライト(連結経営成績)
- 株式状況/株主メモ



TOYOTA



株主の皆様におかれましては、平素より当社への格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。当社は、持続的な成長に向けて三つの「意志」をもって歩みを進めてまいります。一つ目は「もっといいクルマづくり」を着実に進めること、二つ目は自動車事業のみならず、それ以外の領域にも種を蒔いていくこと、そして三つ目は、これらを実現するための経営基盤・財務基盤の強化です。今年4月、当社は組織体制を大きく変更し、製品を軸にしたカンパニー制を導入しました。一つひとつのカンパニーを「小さなトヨタ」とすることで、従来よりも新しいことへのチャレンジがしやすい組織、そして自らの成長を実感できる会社に変えていきたいと考えています。今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2016年11月 取締役社長 豊田章男

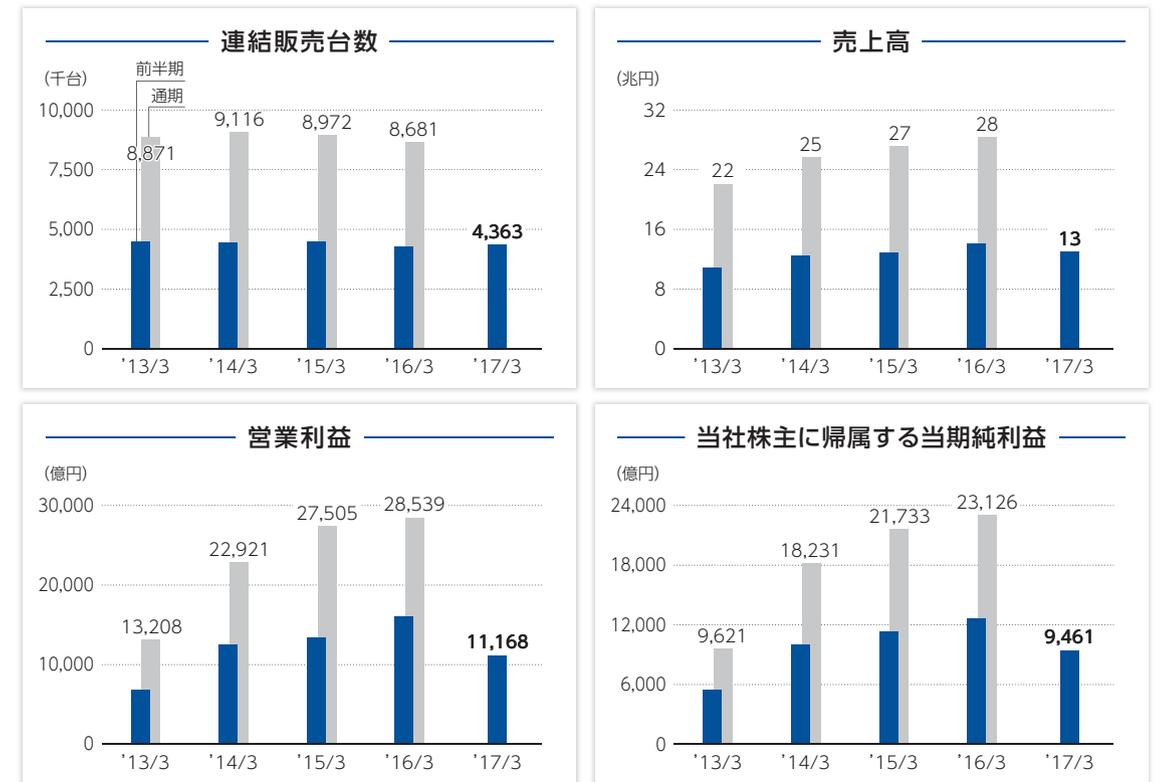
2016年4月 組織改正について

当社は、2013年に「ビジネスユニット制」を導入し、自動車事業を「Lexus International」「第1トヨタ」「第2トヨタ」「ユニットセンター」の4つのビジネスユニットに振り、地域に根差した着実な成長を目指してまいりました。今回の組織改正では、製品群ごとに7つのカンパニーを導入し、各カンパニーが商品計画や製品企画を担います。責任・権限をカンパニープレジデントに集約し、製品の企画から生産まで一貫したオペレーションを実施することによって、迅速な意思決定と業務遂行を図り、すべての仕事を「もっといいクルマづくり」と、それを支える「人材育成」につなげていきます。

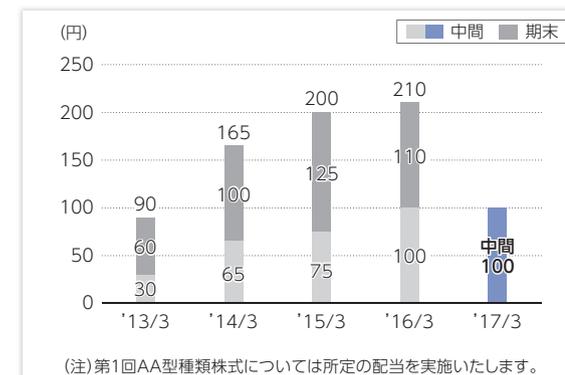
組織概要 (2016年4月18日付)

ヘッドオフィス	未来創生センター	直轄部署 (コーポレート戦略部、経営支援室等) 各 本部 (渉外・広報、総務・人事、経理、調達、カスタマーファースト推進、生産管理 等)		
地域軸	第1トヨタ		第2トヨタ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・北米本部 ・欧州本部 ・アジア・中東 ・中南米本部 		<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ本部 ・国内販売事業本部 ・北アフリカ本部 ・オセアニア本部 	
製品軸	先行	車両カンパニー	ユニット	
	先進技術開発カンパニー	<ul style="list-style-type: none"> Toyota Compact Car Company CV Company Mid-size Vehicle Company Lexus International Co. 	<ul style="list-style-type: none"> パワートレインカンパニー 	<ul style="list-style-type: none"> コネクティッドカンパニー

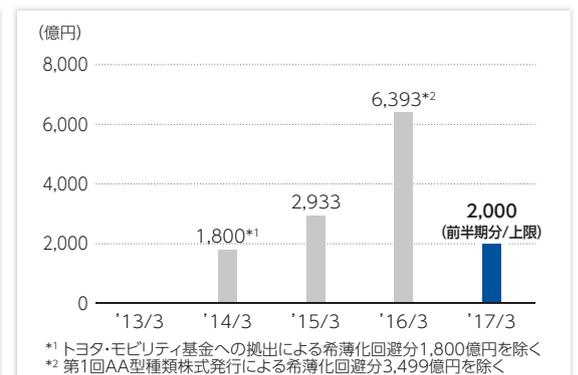
連結販売台数 / 連結業績の推移



普通株式1株当たり配当金(年間)



自己株式の取得額(株主還元)



ビジネスユニットとプレジデントの紹介

製品軸カンパニー

- ① プレジデント
- ② カンパニー/ビジネスユニットの担当領域
- ③ 株主の皆様へのメッセージ

先進技術開発カンパニー



- ① 伊勢清貴
- ② 先端・先進技術の開発
- ③ 「革新」無くして「創造」無し。エンジニアとして夢を描き、それを実現できる世界トップ人材を育成し、お客様の期待を超える将来技術を常に時代に先んじて創出していきます。

Toyota Compact Car Company



- ① 宮内一公
- ② 小型車の企画・開発・生産（ヴィッツ、アクア、シエンタなど）
- ③ 現場前線の心をつなぎ、一体感を持って助け合うチームをつくり上げ、もっといいクルマをもっと早くお客様へお届けします。

Mid-size Vehicle Company



- ① 吉田守孝
- ② 乗用車の企画・開発・生産（カローラ、プリウス、カムリ、クラウンなど）
- ③ プリウスからスタートしたTNGA（トヨタ・ニュー・グローバル・アーキテクチャー）を企画から生産までの一気通貫体制でグローバル展開し、世界中のお客様の期待を超えるクルマをつくり続けます。

CV Company



- ① 増井敬二
- ② 商用車の企画・開発・生産（ハイエース、コースター、ランドクルーザー、アルファードなど）
- ③ 街中から砂漠まで、世界各地の生活と仕事を支え続けるために、多種多様なニーズに応え、お客様の笑顔と満足の最大化という夢の実現につながる「もっといいCV*」をつくり続けていきます。

*CV:Commercial Vehicle（商用車）

Lexus International Co.



- ① 福市得雄
- ② レクサス車の企画・開発・生産
- ③ レクサスならではの驚きと感動の体験を創出。唯一無二のブランドを目指し、エモーショナルで突き抜ける商品を出し続けます。

パワートレーンカンパニー



- ① 水島寿之
- ② ユニットの企画・開発・生産（エンジンなど）
- ③ 環境車へのシフトなど、グローバル規模での環境問題への対応が進む中、世界一の競争力を持つパワートレーンの開発と、迅速な製品化を実現していきます。

コネクティッドカンパニー



- ① 友山茂樹
- ② 車載通信機の開発および搭載・通信を通じたさまざまなモビリティサービスの提供
- ③ コネクティッドを通じてトヨタの新未来を創造。クルマ・人・社会をつなぎ、クルマの新しい価値を創出するとともに、誰もが自由で安心・便利なスマートモビリティ社会を目指します。

地域軸ビジネスユニット

第1トヨタ



- ① Didier Leroy（ディディエ ルロフ）
- ② 北米、欧州、アフリカ、国内販売事業
- ③ お客様のニーズを織り込んだ「もっといいクルマづくり」を各カンパニーと連携して推進し、現地現物に基づく迅速な意思決定と強いファイティングスピリットを持って、真の競争力が求められる先進国市場にチャレンジしていきます。

第2トヨタ



- ① 小寺信也
- ② 中国、アジア・中東・北アフリカ、東アジア・オセアニア、中南米
- ③ 地域のお客様ニーズを踏まえた「必要とされるトヨタ」の具現化に向けて、新興国の急激な環境変化や成長スピードに対応すべく、車両カンパニーと連携したコンパクトかつスピーディーな判断・実行や、新しい視点・発想での革新的な取り組みにチャレンジします。

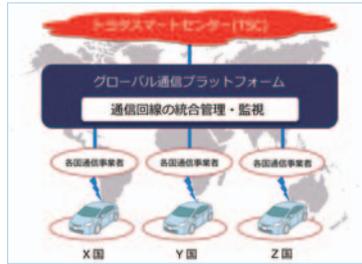
新型パッソを発売

「街乗りスマートコンパクト」をコンセプトに、コンパクト車としての基本である経済性や取り回しの良いサイズを維持しつつ、ゆとりある広い室内空間を確保しました。走りについても、ボディの軽量高剛性化や足回りの強化などで、街乗りでのフラットな乗り心地や安心感ある上質な走りを実現しました。



KDDI(株)と共同で「つながるクルマ」のグローバル通信プラットフォームを構築

当社は、車載通信機による高品質で安定した通信の確保のために、KDDI(株)と共同でグローバル通信プラットフォームの構築を推進します。当社はクルマの「つながる化」を推進するために、現在は国・地域で仕様が異なっている車載通信機を、2019年までにグローバルで共通化し、2020年までに日本・米国市場で販売されるほぼすべての乗用車に搭載し、その他の主要市場においても順次搭載を進めていきます。



86をマイナーチェンジ

2012年に発売した86は、ニュルブルクリンク24時間耐久レースや、お客様自らが参加し楽しむ競技の86/BRZレースやラリーなど、さまざまなモータースポーツで活躍し、お客様の笑顔をいただけてきました。今回のマイナーチェンジでは、「スポーツカーとしてのさらなる深化」をキーワードに開発し、より「走り」に特化した86を実現することで、スポーツカーファンのさらなる獲得を目指します。



ダイハツ工業(株)を完全子会社化

当社は8月1日付でダイハツ工業(株)を株式交換により完全子会社化しました。これはトヨタおよびダイハツのさらなる持続的成長に向け、小型車事業においてより選択と集中を進め、両ブランドにおける「もっといいクルマづくり」を一層進化させていくことを狙いとしています。トヨタとダイハツは、今後もそれぞれの強みを活かすマネジメントの独自性は維持しつつ、一体となって高度化する技術革新やスピーディーな事業展開など難易度の高い課題に対応し、両社の企業価値向上に努めていきます。今後の新興国小型車事業の強化に向けて、2017年1月を目標に、新興国小型車担当のカンパニーの設置を進めます。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

WEC第3戦 ル・マン24時間耐久レースで2位表彰台を獲得

TOYOTA GAZOO Racingは、WEC(世界耐久選手権)第3戦となるル・マン24時間耐久レースに2台のトヨタTS050 HYBRIDで参戦し、6号車が2位を獲得しました。5号車は、23時間55分まで手の中に入れていた初勝利を残り2周での無念のトラブルで逸し、チームにとっては悔しいレースの幕切れとなりました。ル・マンの道で戦ったすべての関係者に感謝するとともに、「もっといいクルマづくり」のために、1年後ル・マンに必ず帰ってまいります。



都市対抗野球大会で初優勝

当社は、7月15日から12日間の日程で行われた第87回都市対抗野球大会で、初優勝を果たしました。社長の豊田は、「豊田市の代表として、選手たちをはじめ、選手を支え続けたスタッフの皆さん、従業員と地域の皆さんの全員でつかみとった、トヨタらしい悲願の初優勝だと思います。これまで対戦させていただいたすべてのチーム、応援団の皆様からは、社会人野球の魅力、素晴らしさを改めて教えていただきました」とコメントしました。



ロシア工場でのRAV4生産を開始

ロシアにおける生産拠点であるロシアトヨタ有限会社のサンクトペテルブルク工場にて、RAV4の生産を開始しました。同工場では2007年よりカムリを生産しており、RAV4は2車種目となります。また、これに伴い同工場の生産能力も年間5万台程度から10万台程度に増加します。RAV4は、2002年にロシアで導入して以来、市場にて高い評価を獲得し、コンパクトSUVセグメントをけん引する車種であるとともに、現在トヨタのロシアにおけるすべてのラインナップの中で、最も販売台数が多い車種となっています。



「もっといいクルマづくり」のための5大陸走破プロジェクト 第3弾を南米で開始

2014年、15年に続いて第3弾となる5大陸走破プロジェクトを8月22日に南米で開始しました。日本と現地事業体の従業員約110名が協力しながら、約3カ月半にわたり南米大陸の多様で厳しい道を走破する中で、従業員自らがステアリングを握り走行するという現地現物の経験を通じて、「もっといいクルマづくり」を担う人材の育成を目指します。

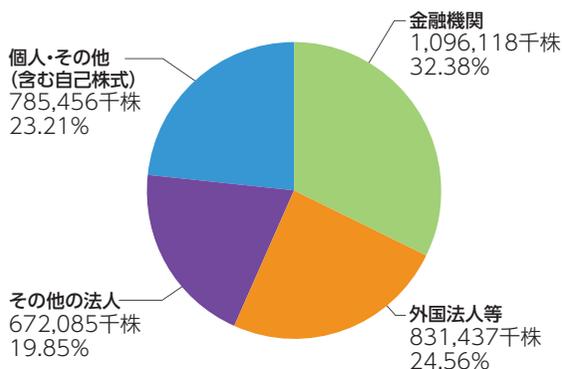


株式状況 (2016年9月30日現在)

発行済株式総数 3,385,097,492株
(注)AA型種類株式を含みます。

株主数 710,303名

株式分布状況



(注)比率は発行済株式総数に対する持株比率です。

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	発行済株式総数に対する持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	370,698	10.95
株式会社豊田自動織機	224,515	6.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	153,834	4.54
日本生命保険相互会社	120,604	3.56
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部)	105,248	3.11
株式会社デンソー	86,882	2.57
ジェーピー モルガン チェース バンク (常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部)	69,570	2.06
資産管理サービス信託銀行株式会社	63,097	1.86
三井住友海上火災保険株式会社	61,711	1.82
ザバンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリ バンク フォー デポジタリ レシート ホルダーズ (常任代理人 (株)三井住友銀行)	59,664	1.76
計	1,315,823	38.87

(注)上記のほか、当社が所有している自己株式334,684千株があります。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

配当金支払株主
確定日 期末配当:3月31日
中間配当:9月30日

上場証券取引所 (国内)東京・名古屋・福岡・札幌
(海外)ニューヨーク・ロンドン

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

(同連絡先) (〒137-8081)

東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話(0120)232-711 (通話料無料)

お知らせ

住所変更・単元未満株式の買取請求等のお問い合わせ先

- ①証券会社に口座を開設されている株主様
お取引先の証券会社等にお問い合わせください。
- ②証券会社に口座がなく、特別口座に登録されている株主様
特別口座を開設している三菱UFJ信託銀行株式会社まで
お問い合わせください。

T-ROAD

「もっといいクルマづくり」
や「持続的な成長」への
社長・豊田の熱い想い
を、インターネットサイト
「T-ROAD」にてお届け
しております。
是非ご覧ください。



スマートフォンで無料アプリ「公式QRコードリーダー“Q”」をダウンロードの上、QRコードを読み取りアクセスしてください。

(注)アクセスに際して発生する費用は株主様のご負担とさせていただきます。